



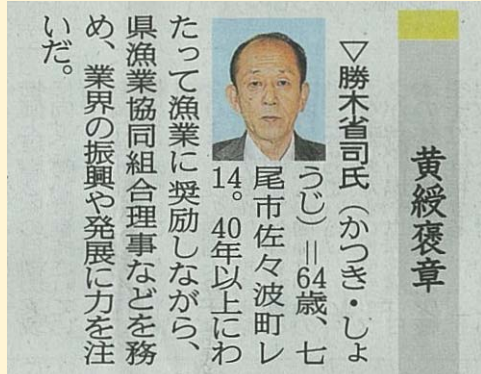
第 1463 回例会 2017 年 5 月 9 日(火) 12 : 30 開会点鐘 番伊にて

ロータリーソング「奉仕の理想」「四つのテスト」唱和

ゲスト 米山奨学生 ハリー・セイザー 君

会員卓話 中野 芳一 パスト会長

勝木省司 会員 おめでとうございます!!



2017. 4. 28 北國新聞朝刊より

米山奨学生 ハリー・セイザー 君 紹介

( HARRY CAEZAR )

国 籍 インドネシア

在 籍 校 金沢大学 人間社会学域 国際学類

奨学期間 2017 年 4 月～2019 年 3 月まで

カウンセラー 高橋志栄 会員

◎5 月度のお祝い発表

〈会員誕生日〉

1 日 浜田雅文さん

5 日 井田松円さん

〈ご夫人誕生日〉

13 日 浅野 環 さん

20 日 寺田美恵子さん

〈結婚記念日〉

2 日 茶谷義隆・陽子 ご夫妻

5 日 西野二郎・京子 ご夫妻

5 日 佐味一郎・裕香 ご夫妻

18 日 永江典之・直美 ご夫妻

27 日 山田外志勝・真由美 ご夫妻

おめでとうございます!

第 1462 回例会(4/25)報告

進行：中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長挨拶 戸田会長

今日は、ロータリーの「母子の健康月間」に因んで、桑原 崇 院長（桑原母と子クリニック）をお迎えしました。よろしくお願ひします。

さて、先週(18日)の夜、新入会員並びに入会2年未満のメンバーを対象に、「新会員のためのロータリー情報委員会」が開かれました。山田パスト会長が講師となり、七尾みなと RC の歴史や概要について、話をしていただきました。教材として、新会員オリエンテーション用「今日からロータリアン」を、

参加者に配布しましたが、各自しっかり読んでいただきたいと思ひます。その中に、ロータリアンの三大義務として「会費の納入」「例会出席」「ロータリー雑誌の購読」が挙げられていますが、特に「例会出席」の重要性を理解してほしいと思ひます。

月	日	曜	プログラム	週報担当
5	9	火	会員卓話 中野芳一 パスト会長	浅野
5	16	火	ゲスト 七尾青年会議所理事長 清水真一路 氏	奥井
5	23	火	ロータリーアワード顕賞「俊友会合唱団」	勝木
5	30	火	ゲスト 国際ソロプチミスト能登会長 田中美智子氏 桂撤男石川第3分区ガバナー補佐訪問	西野
6	6	火	新会員卓話 吉井 治 会員 ・ 佐味一郎 会員	山田

会 長 戸田 一明  
副 会 長 森 仁志  
副 会 長 鳥畑 弘  
幹 事 寺田 彰  
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日  
RI 認証1986年6月26日  
【国内第1721】



ご存じのようにロータリーは異業種の経営者やそれに準ずる役職等のみなさんの集まりであり、職業上の情報交換の場でもあります。週に一度、貴重な時間を割いて会するわけですので、ぜひ有効に使って、親睦を図っていただきたいと思います。現在は、職業分類が一業種 5 社まで認められています。以前は一業種 1 社に限られ、その地域における業界の代表として参加していました。そのような立場から、例会を欠席することは大変もったいないことであると思います。様々なメンバーとの交わりを深め、人間性を向上させる絶好の機会ととらえてほしいと思います。そのうえで、外部への奉仕活動に励んでいただきたいと思います。とにかく新入会員の皆さんにはロータリーを知ること、もっとロータリーを好きになってほしいと思います。

本日もたくさんの出席ありがとうございます。

### ◎幹事報告 寺田 幹事

- ・ロータリー適用相場変更  
4月 1ドル=116円 → 5月 1ドル=110円
- ・次年度の地区ロータリー財団補助金事業が内定  
(事業名:七尾こども未来プロジェクト  
—ふる里を描こう・ふる里を学ぼう—)

### ◎ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付のお願い (木下敬夫 R 財団・米山小委員長より)

### ◎出席報告 浜田 出席小委員長

会員総数 49 名(内、出席規定適用の免除者 4 名) 37 名  
メイク  
4/22 地区「米山奨学生・カウンセラー」リエンション:高橋、田中

### ◎ニコニコ箱紹介 木村 ニコニコ箱管理小委員長

戸田 桑原先生、本日はお忙しい中、卓話ありがとうございます。

桑原 桜の花も終わり、これからは新緑の美しい季節に入ります。今日は「母子の健康」月間に息子の卓話計画していただきありがとうございます。よろしくお願い致します。

多田 本日は例会出席できなくてすいません。桑原先生の卓話を聞けなくて残念です。

姥浦昭二 桑原先生にお世話になった孫達がお陰様で元気よく育てられています。

鳥畑・間蔵・山田・川島・木下敬夫・佐味貫義・中越・姥浦敏明・松井・勝木・岡崎・久保・魚岸・山本・三井・木下徳泰・中野・寺田・長・吉井  
桑原先生本日はようこそ、七尾みなとクラブへ。卓話ありがとうございます。

...4/25 日計... 26,000 円... 累計 1,113,650 円...

### ◎ゲスト卓話 『母乳育児にまつわるお話し』

桑原母と子クリニック 院長 桑原 崇 氏

七尾市で産婦人科を開業しております桑原と申します。

「母子と健康」がテーマということで、本日は「母乳育児にまつわるお話し」というタイトルで少しお話しさせて頂こうと思います。



健康に生まれた赤ちゃんというのは生後 30 分経つと、自らおっぱいを欲しがるとの行動を示します。そこでおっぱいを含ませてあげると、誰に教わったわけでもないのに上手に吸うんです。まさにヒトが哺乳類であることを実感する場面ですね。

今私たちの住む社会は、「母乳で子育てをする」という母親としての能力を素直に発揮することが、非常に難しくなっているのが現状です。なぜそんな困難な状況になってしまったのか、いつからそうなっちゃったのか？まずは母乳育児を取り巻く問題の歴史について触れてみたいと思います。

江戸時代の育児書には、母親が授乳をするというのは自然であり、子の健やかな成長には必要であると記されています。この時代、自然な母乳に対して自然ではない、よろしくないものとしてあげられていたのは乳母(による授乳)だったようです。

母親の代わりに授乳もまかされていた乳母というのは、身分が低く、貧しく、行儀作法も品性もないとみなされており、その乳母が授乳すると子供の心身を害するとまで言われていたようです。

江戸時代に乳母が自然でないといふとみなされた一番の理由はその身分の差にあったのでした。

明治時代に入ると、それまでの実母対乳母という対立が薄まり、母乳>乳母>牛乳>粉ミルク、というふうに「望ましい乳」の序列というのができてきました。人乳(自然) 対 獣乳(自然じゃない)というふうに生物種の差に焦点が置かれるようになったのです。

ただ、人による授乳が、牛乳より良いというのは、単に「自然」だからというわけでは無かったようです。統計学により牛乳や人工乳で育てられた乳児の死亡率の高さが明らかになり、その上新鮮で良質な牛乳を入手や器具の衛生管理には相応な経済力が必要だったからです。これらのことは富裕層に限っての話で、一般庶民にとっては、乳母や牛乳・人工乳、育児書などはほぼ無縁のものでした。

戦後は、乳母を雇う習慣がなくなり、一般の人も育児書を読むようになる。また母乳の代わりとして牛乳を使わなくなり、自然である母乳に対するものは人工乳(粉ミルク)という二項対立の図式になって、今に至ります。

### 人工栄養のリスク

- アレルギー性疾患 2~7倍
- 中耳炎 3倍
- 胃腸炎 3倍
- 髄膜炎 3.8倍
- 尿路感染症 2.6~5.5倍
- 1型糖尿病 2.4倍
- 乳幼児突然死症候群 2倍
- 肺炎・気管支炎 1.7~5倍
- 炎症性腸疾患 1.5~1.9倍
- ホジキンリンパ腫 1~6.7倍